

本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

- Shock-resistant construction
- 10-Bar water resistance
- EL backlighting
- Metal bar protector
- Timer with color EL countdown
- 1/100 sec stopwatch
- Alarm/hourly time signal

CASIO

このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。

なお、この取扱説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

ご使用上の注意

■防水性

- 表面または裏蓋に WATER RESIST または WATER RESISTANT と表示されているもの

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキューバダイビング(素潜り)	×	×	○	○

※「BAR」は気圧の意味で、防水性の高さを表わします。

※専門的な潜水=スキューバダイビング(アクアラグ)でのご使用はお避けください。

- 防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。
- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
- 防水性を保つために定期的(2~3年を目安)なバッキン交換をおすすめします。
- 電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオサービスセンターにお申し付けください。(特殊な治具を必要とします)
- 防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態では、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

■バンド

- バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- 樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビ割などの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。
- 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

■ショック

- 腕につけたままでモトクロス、チェーンソー、前割機などの強い衝撃を受けても時計には影響ありません。
- 腕につけたままで激しいスポーツなどでのショックが加わっても時計には影響ありません。

■温度

- 自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが止じたり止まったりすることがあります。
- +60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

■磁気

- 磁気の影響はありません。

■薬品類

- 水銀や化学薬品(シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類)が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

電池交換について

■最初の電池

- 工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
- モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
- ※電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

■消耗

- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

■電池交換

- 電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
- 電池交換の際、防水検査を行ないます。(防水検査は別途有料となります)

お手入れについて

■お手入れのしかた

- 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは、吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。
- 金属バンドは、時々、部分洗いをすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

■お手入れを怠ると

「サビ」

- ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
- ※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
- 表面はきれいでも、すまみに付着した汚れやサビがしみ出して衣類の袖を汚すことがあります。

「劣化」

- 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気が多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり折れたりすることがあります。

「かぶれ」

- 皮膚の弱い方やアレルギー体質の方はかぶれたりすることがあります。万一、かぶれた場合にはそのバンドの着用を中止し皮膚科の専門医にご相談ください。
- 特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをするか、金属バンドのご使用をおすすめします。

■液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオサービスセンターに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

■ELパネルの交換について

表示照明用として本機に使用しているELパネル(エレクトロルミネッセンスパネル)は、長期使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見える場合があります。このようなときにはお買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。
なお、月に1度くらい「秒合わせ」をすると、時刻はいつも正確です。

(1)時刻モードのとき、Cボタンを押します。

→現在時刻の「秒」が点滅します。



(2)秒合わせ・時報に合わせてBボタンを押します。 →「00秒」からスタートします。

秒が00~29のときは切り捨てられ、30~59のときは1分繰り上がって「00秒」になります。
(時報は「時報サービス117番」が便利です。)

(3)時・分・年・月・日セット

a. 「秒」が点滅しているとき、Aボタンを押すごとに、以後「時→分→年→月→日→秒」の順で点滅が移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。



b. セット箇所を選びましたら、Bボタンを押します。
→Bボタンを押すと点滅箇所の数字が1つずつ進み、押し続けると早く進みます。

上記 a、b の操作を繰り返して現在時刻を合わせます。

※「時」セットのとき、午前(A) / 午後(P)にご注意ください。
※「年」は、1995~2039年の範囲内でセットできます。正しく年月日をセットすると、自動的に曜日(時刻モードで表示)が算出されます。なお、カレンダーは、うるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

(4)すべてのセットが終わりましたら、Cボタンを押して点滅を止めます。

※点滅表示のまま2~3分間ボタン操作を行なわないと自動的に点滅が止まります。

操作のしくみと表示の見方

← Dボタンを押すごとにモード(表示)が切り替わります。 →

時刻モード



★ライト点灯 (Aボタンを押すと、約2秒間文字板が点灯します。)
(このとき文字板のアニメ表示*が動きます)

(A)ボタン (ライト点灯)

(B)ボタン (12/24時間制表示切替)

★曜日の見方

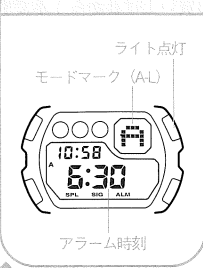
12時間制表示のとき、曜日が表示されます。

日: SU 月: MO 火: TU 水: WE
木: TH 金: FR 土: SA

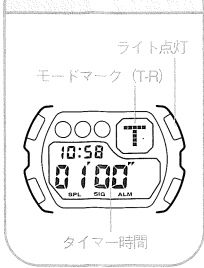
(24時間制表示のときは“G”を表示します。)

★12/24時間制表示切替
(B)ボタンを押すごとに、12時間制表示(午前A/午後P)と24時間制表示とが切り替わります。

アラームモード



タイマーモード



ストップウォッチモード



アラームの使い方 → Dボタンを押してアラームモードにします。

アラームは、分単位でセットできます。セットした時間になると20秒間電子音が鳴ります。また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。

●アラーム時刻をセットする

(1)アラームモードのとき、Cボタンを押します。

→アラーム“ON”となり、アラーム時刻の「時」が点滅します。



(2)Bボタンを押して「時」を合わせます。

※押し続けると早く進みます。

このとき、「時」の午前(A) / 午後(P)にご注意ください。
なお、基本時刻を24時間制にしておくと、アラーム時刻も24時間制で表示されます。

(3)「時」セット後、Dボタンを押します。→「分」が点滅します。

※「時」と同様に、Bボタンを押して「分」を合わせます。

(4)「分」セット後、Cボタンを押して点滅を止めます。

※点滅表示のまま2~3分間ボタン操作を行なわないと自動的に点滅が止まります。

●アラーム・時報の“ON”または“OFF”設定のしかた
アラームモードのときに、Bボタンを押すごとに、ALM、SIGの右側にそれぞれ“—”マークが点灯/不点灯を繰り返します。
※マークが点灯しているとON、点灯していないとOFFとなります。

●アラーム音を試しに聞く(デモアラーム)

アラームモードのときに、Bボタンを約1~2秒間押し続けます。
→Bボタンを押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

●鳴っている電子音を止めるには

A/B/C/Dボタンのいずれか1つを押します。

●自動復帰…アラームモードのまま、2~3分間ボタン操作を行なわないと、自動的に時刻モードに戻ります。

タイマーの使い方 → Dボタンを押してタイマーモードにします。

タイマーは、1分単位で最大60分までセットでき、1秒単位で減算計測を行ないます。残り時間が0分になると10秒間電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。

●タイマー時間をセットする

(1)タイマーモードのとき、Cボタンを押します。

→タイマー時間の「分」が点滅します。

●タイマー時間をセットする

(1)タイマーモードのとき、Cボタンを押します。

→タイマー時間の「分」が点滅します。

(2)Bボタンを押して「分」を進めます。

※押し続けると早く進みます。

(2)Bボタンを押して「分」を進めます。

※押し続けると早く進みます。

(3)セット後、Cボタンを押して点滅を止めます。

※点滅表示のまま2~3分間ボタン操作を行なわないと自動的に点滅が止まります。

●タイマーの使い方(減算計測のしかた)

タイマーモードのときに、Bボタンを押します。

→Bボタンを押すと計測がスタートします。

★計測を一時的に中断するには、Bボタンを押します。もう一度Bボタンを押すとその時点から計測を再開します。

★「タイムアップ後」または「計測中断後」Cボタンを押すと、計測前の表示に戻ります。

●タイマーの使い方(減算計測のしかた)

タイマーモードのときに、Bボタンを押します。

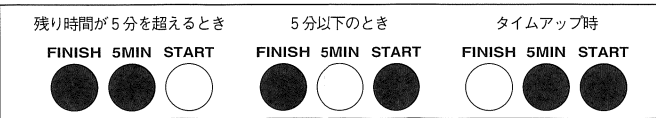
→Bボタンを押すと計測がスタートします。

★計測を一時的に中断するには、Bボタンを押します。もう一度Bボタンを押すとその時点から計測を再開します。

★「タイムアップ後」または「計測中断後」Cボタンを押すと、計測前の表示に戻ります。

残り時間が5分、および0分(タイムアップ)になると、電子音とライトで知らせます

★減算計測中の表示について



●自動復帰…タイマーモードのまま、2~3分間ボタン操作を行なわない(計測中は除く)と、自動的に時刻モードに戻ります。

ライト点灯について

どのモードのときでも、Aボタンを押すと約2秒間文字板が発光します。

(このとき文字板のアニメ表示*が動きます)

※発光しているときにもう一度Bボタンを押すと、その時点から引き続き約2秒間発光します。

*アニメ表示には3種類あり、ボタンを押すタイミングで変わります。ただし、セット中(表示点滅)はアニメ表示は行ないません。



<ご注意>

- 直射日光下では、発光が見えにくくなります。
- 発光中にアラーム等の電子音が鳴ると発光を中断します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえることがあります。これは発光の際のELパネルの振動音であり、異常ではありません。

製品仕様

水晶共振周波数: 32,768Hz
基本機能 : 日・曜日、時・分・秒、午前A/午後P/24時間制表示、フルオートカレンダー(1995~2039年)

<アラーム機能>

時刻アラーム セット単位=分 電子音=20秒間 時報 毎正時に電子音で報時

<タイマー機能>

残り時間5分/0分時に電子音とライトで報知
ストップウォッチ機能

計測単位=1/100秒
計測範囲=23時間59分59秒99(24時間計)

計測機能=通常計測、積算計測、アラート計測、1・2着同時計測

その他: 自動復帰機能、12/24時間制表示切り替え、EL(エレクトロルミネッセンス)バックライト点灯

表示方式: FE型液晶デジタル表示
主要回路素子: 普及型高性能水晶振動子、ワンチップCMOS-LSI

常温携帯精度: 平均月差±15秒以内
使用電池: CR-1220(電池別途販売)

電池寿命: 約15ヶ月
(電子音20秒間/日、ライト2秒間/日、およびタイマー1回/週使用した場合)

●ただし、ライト使用条件により、電池寿命が短くなることがあります。

・1日あたりライト6秒間使用…約1年

・1日あたりライト10秒間使用…約9ヶ月

ストップウォッチの使い方 → Dボタンを押してストップウォッチモードにします。

ストップウォッチは、1/100秒単位で23時間59分59秒99(24時間計)まで計測できます。(計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。)

●計測のしかた

ストップウォッチモードのとき、Bボタンを押します。

→Bボタンを押すと計測が開始します。

★計測を止めるには、Bボタンを押します。

また、もう一度Bボタンを押すとその時点から計測を再開します。(積算計測)

★計測中にCボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります。

※計測値を0に戻す(リセット)には、計測終了後Cボタンを押します。

★通常計測

スタート → ストップ → リセット

★スプリットタイム(途中経過時間)の計測

スタート → スプリット → スプリット解除 → ストップ → リセット

★1・2着同時計測

スタート → 1着ゴール → 2着ゴール → 2着タイム表示 → リセット
(1着タイム表示)

●自動復帰…ストップウォッチモードのまま、2~3分間ボタン操作を行なわない(計測中は除く)と、自動的に時刻モードに戻ります。